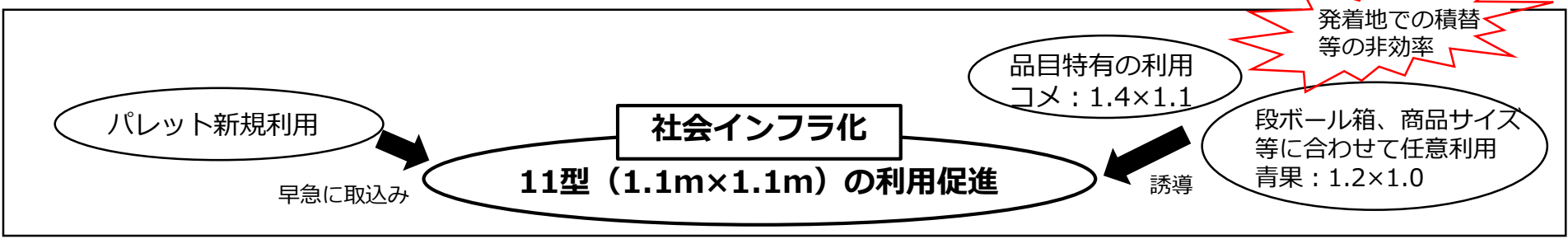


統一規格のパレットを用いた 一貫パレチゼーションの取組

統一規格のパレットを用いた一貫パレチゼーションの取組

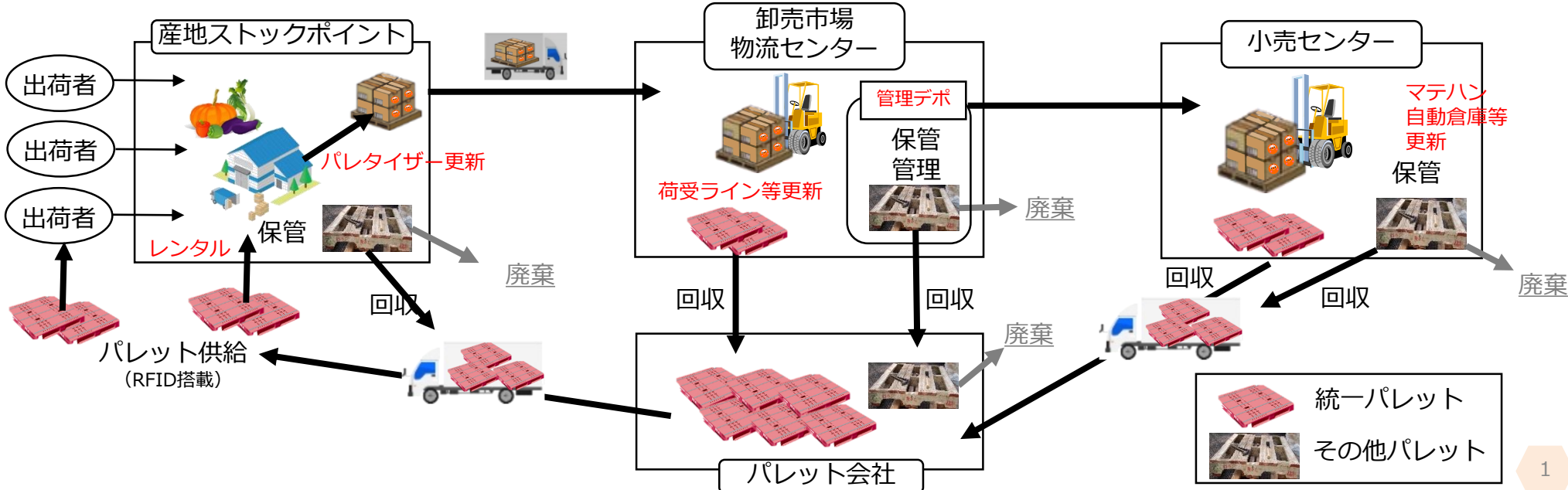
1 趣旨

ドライバーの労働環境改善に配慮しつつ、安定した物流を確保するため、パレットを導入することで、手積み・手降ろしの輸送形態を機械化し、効率化・省力化を目指す。パレットについては、産地や品目ごとに規格が複数存在するため、効率的な管理が可能となるよう、11型の規格に統一する（社会インフラ化）。



2 導入の考え方

一貫パレチゼーションの取組の中で11型パレット導入を推進し、必要な対策を検討する。



3 農産物パレット推進協議会による一貫パレチゼーションの実証

RFIDを活用した積荷・パレットの管理等により物流情報の共有化や積み込み・積み降ろしの機械化を推進し、労働時間の短縮等、物流業務の効率化・省力化に向けた実証




【実施主体】(一社)農産物パレット推進協議会

設立：2018年8月

理事：全農(代表)、東京青果、日本パレット協会、全国スーパーマーケット協会、全日本トラック協会、JPR

監事：熊本大同青果

会員：42(卸売業者、JA、パレットレンタル会社等)(2019年9月現在)

	2018	2019	2020～
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> RFID追跡(流通するパレットを把握) <ul style="list-style-type: none"> →回収率向上 パレットへの段ボールの効率的な積付け <ul style="list-style-type: none"> →トラック積載効率向上 →荷降ろし後の仕分作業短縮 JR貨物での輸送検証 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ピーマンときゅうりの相積み</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>JR貨物での検証</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> フォークリフト据付型及びゲートセンサー型の読取機器の技術試験 <ul style="list-style-type: none"> →読取作業の効率化 パレット情報を関係者間(産地、市場等)で共有する仕組みの構築 <ul style="list-style-type: none"> →パレットの管理・回収の効率化 パレットと積荷との紐付け情報管理 <ul style="list-style-type: none"> →検品等荷受け作業の効率化 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>個体ごとのRFID読取の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>パレット野積みの様子</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> フォークリフト据付型及びゲートセンサー型の導入、ハンディ型との組合せ <ul style="list-style-type: none"> →大量にパレットが流通した際の読取・入力作業の効率化 パレットや積荷の情報を関係者間でリアルタイムに共有するシステムの構築 <ul style="list-style-type: none"> →産地から市場への自動情報伝達 →市場における大量かつ多産地からのパレット情報の一元管理 トラック予約受付システム等との連結 <ul style="list-style-type: none"> →市場における荷降ろし作業の効率化
実証範囲	<p>JAきたみらい(北海道)→札幌、大田、多摩、川崎、名古屋、福岡</p> <p>JAみなみ筑後(福岡)→福岡、大田</p> <p>JAいわて花巻→全農青果センター神奈川</p> <p>JA新しいわて、JA熊本市、JA宮崎経済連→大田</p> <p>JA島原雲仙(長崎)→福岡</p>	<p>左記に加え、JAえひめを始め、実証産地及び卸売市場等を拡大</p>	<p>(産地) 品目、生産規模、収穫から出荷までの作業工程・リードタイム、運送形態等に応じた多様な地域</p> <p>(市場) 取扱量、トラックバース・パレット管理スペース等の施設構造、運営形態等に応じた多様な市場</p>

(参考) クランプフォークリフトを活用したパレット回収

通常のフォークリフトは、前方の2本のフォークを使用して荷の上げ下げ、運搬を行うが、クランプフォークリフトは、荷を挟んで固定して荷の上げ下げ、運搬する。このため、荷の回転が可能。

卸売市場では、パレットの交換のため、東京都中央卸売市場大田市場において導入されており、パレット管理に有効。

<作業順序>



①パレットと積荷を固定する



②フォークを回転させ上下逆さまにする



③元のパレットAと積荷の間に別のパレットBを装着する



④もう一度上下逆さまにして据え置き、Bのパレットで積荷を運び出せば、Aのパレットを回収可能

クランプフォークリフトのリース導入に対しては、輸出拠点・流通新技術導入モデル形成事業により支援（補助率：1 / 2）